

原風景の残る島 Iheya Island

広報

いへや

8

2018

No.315



伊平屋村

夏の伊平屋島で
のんびり。

平成三十年七月八日

祝

伊平屋小学校

新校舎落成

記念式典



伊平屋小学校新校舎落成記念式典が7月8日、伊平屋小学校で行われた。第一部は普天満宮の新垣義夫宮司による新校舎竣工祭、第二部は村歌斉唱、新校舎の前でテープカット、定礎納め、伊平屋小学校児童による校歌斉唱。その後、参加者全員が校内を見学した。第三部は校内二階の多目的教室に場所を移し、伊礼幸雄村長による式辞、教育委員会名嘉丈祝課長による事業経過報告、伊平屋郷友会東江米男会長による来賓祝辞、建築設計施工企業の方々への感謝状贈呈が行われた。児童代表の津田徠斗君は「今日の完成を迎えることができて、とても嬉しく思います。これからの生活がとても楽しみです。新校舎でもたくさんのお出がでできることを楽しみにしています。完成までにご協力くださった方々への感謝を忘れずに伊平屋小学校全員で大切に生活していきたいと思います。」とあいさつした。夕方からは伊平屋村産業連携拠点センターで祝賀会も行われた。



6月24日(日)第70回野甫小中学校運動会が野甫小中学校で行われた。子供たち、職員らもこれまで練習してきた鼓笛隊や演舞、走りを披露し、会場は拍手に包まれた。地元住民や村民も競技に応援に積極的に参加し、温かい雰囲気運動会となった。

6月30日(土)第20回伊平屋幼小中合同運動会が伊平屋中学校で行われた。台風の影響で急遽一日早い運動会となったが、子供たちは懸命に練習してきた走り、踊りを魅せ、会場は大盛り上がり、楽しい運動会となった。





ひまわりの絆プロジェクト

6/13

ひまわりに願いを込めて。

『ひまわりの絆プロジェクト～命の大切さ、交通事故防止を京都から全国に～』でひまわりの植栽が伊平屋小学校で行われた。伊平屋駐在所の田中健巡查部長が伊平屋小学校を訪れ、プロジェクトについて説明。ひまわりの種を子供たちに渡し、児童会の4名が代表して種を植えた。このひまわりプロジェクトは命の大切さと交通死亡事故根絶の願いを込め、京都から始まったもので、全国へと広がっている。平成23年11月、当時4歳だった陽大（はると）くんは交通事故により亡くなられた。陽大くんが大切に育てていたひまわりを「来年、一緒に植えようね。」と母が言ったその数ヶ月後だったという。ひまわりの種はご遺族から引き継がれ、警察署の花壇で大輪を咲かせた。それから、このひまわりの種は全国へと広がっている。児童会長の津田徠斗君は「交通安全の願いが込められたひまわりを大切に育てます。交通事故が起きないように、交通安全に心がけ、楽しい学校生活を送りたいです。」と話した。



伊平屋で50年に一度の記録的な大雨

6/16

我喜屋ダム一挙に満水！

沖縄気象台は、「伊平屋村では、50年に一度の記録的な大雨となっている所がある」と発表した。台風6号の影響で発達した雨雲が広がり、午前6時までの1時間に61ミリの激しい雨を観測したほか、午後12時までの12時間に295ミリの雨量を観測し、6月の1位の値を更新した。6月は658mm、14～16日の3日間で561mmという雨量を観測した。法面崩落等の災害が発生し、村道アグチャー線は全面通行止、村道アッチャビシ線は片側通行止となった。渇水で水位が著しく低下していた我喜屋ダムは一挙に満水、干ばつは一安心となった。（※雨量の数値は我喜屋ダムデータ）

特定健診受診率表彰式

6/18

健康は宝！

特定健診受診率表彰式が伊平屋村役場で行われた。今年は野甫が70.0%で1位、前泊が69.4%で2位、田名が68.4%で3位、島尻が60.8%、我喜屋が59.4%、伊平屋村全体では64.3%という結果となった。1位は5万円、2位は3万円、3位は1万円の報奨金が各字の区長に手渡された。90%以上で10万円の報奨金、今年は残念ながら達成できたところはない。健康は宝。来年は受診率100%を目指していきましょう。未受診の方も平成31年3月31日まで受診可能。詳細は保健師までご連絡ください。





平成 30 年度伊平屋・伊是名架橋建設促進協議会定期総会

6/20

架橋実現に向けて。

平成 30 年度伊平屋・伊是名架橋建設促進協議会定期総会が伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。定期総会には伊平屋・伊是名架橋建設促進協議会メンバー 63 名（内 15 名は委任状）全員が参加した。この架橋は伊平屋から具志川島を経由し、伊是名まで繋ぐ予定となっており、今年度は立て看板等の作製・設置、7 月にはいへやまつり、いぜな尚円王まつり時に架橋模擬調査を行い、住民の想いを知る機会を設け、11 月には先進地視察研修（現時点で視察場所、メンバーは未定）、2 月には沖縄県知事への陳情が予定されている。協議会の伊礼幸雄副会長は「より国や県へ力強くアピールすることによって一日でも早い架橋の実現することができると思います。」と話し、前田政義会長は「昨年度は総決起大会、海上パレードと一連の事業が大成功し、多くのマスコミや関係者から高く評価され、県知事や内閣府国交省と幅広く要請活動をしていくことができました。今年度も促進に向け、色々な活動をしていきたいと考えています。」と話した。



名護市立大北小学校民泊体験

6/27-29

大北小学校 97 名が来島！



名護市立大北小学校の生徒 97 名が来島し、2 泊 3 日の民泊体験をした。27 日の 1 便で到着した生徒らは産業連携拠点センターで島のお父さん、お母さんと初対面。夕方には伊平屋小学校を訪れ、伊平屋小の 5 年生と一緒に大北小の子供たちが考えてきたレクリエーションを行い、「頑張れ！」「急いで！」と声を掛け合いながら笑顔で交流会を楽しんだ。2 日目は米崎の海岸のビーチクリーン、島尻公民館で伊平屋島観光協会の横溝伸夏さん、島尻の仲田文子さん、伊平屋村漁業協同組合の斎藤伸哉さんに教えてもらいながら、モズク麺打ちも体験した。民泊の家庭では、一緒に島の料理を食べたり、家で飼っているヤギの世話をしたりして、伊平屋島の暮らしを体験。子供たちは伊平屋島の人たちとの交流や暮らしを満喫した。

伊平屋村高齢者生活福祉センターとらず園火災避難訓練

6/26

まずは火災が起きないように。

伊平屋村高齢者生活福祉センターとらず園の火災避難訓練がとらず園で行われた。「厨房で火災発生！職員の皆様は利用者、居住者を速やかに誘導してください！」と園内放送が流れ、職員は利用者らを外へと避難させた。消防車がとらず園に駆けつけ、消火器の使い方を説明。厨房の職員による消火器訓練も行った。とらず園の高良睦局長は「日頃から火には気を付けていますが、いつ何時何が起こるかわからない。本日は火災訓練でしたが、津波、地震の避難訓練等もあれば声掛けしてもらい訓練したい。」と話した。社会福祉協議会の名嘉正明会長は「日頃から職員、利用者ともに火の扱いには気を付けて、まずは火災が起きない様に取り組んでいきたい。」と話した。



小児救急でんわ相談



急な発熱・頭をぶつけた・嘔吐、けいれんなど 判断に困ったら

8 0 0 0

★ 小児救急でんわ相談【#8000】事業とは

- ★ 小さなお子さんをお持ちの保護者の方が、休日・夜間の急な子どもの病気にどう対処したらよいのか、病院の診療を受けたほうがいいのかなど判断に迷った時に、小児科医師・看護師への電話による相談ができるものです。
- ★ この事業は全国同一の短縮番号 #8000 をプッシュすることにより、お住まいの都道府県の相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。



救急は119番！

診療所の時間外（平日 13:00～15:00・17:00～翌 8:30、土日祝祭日）は 119 番にお電話ください。

【お問い合わせ】

伊平屋村役場住民課 TEL:0980-46-2142

危険物取扱者試験

◎試験 日：9月30日（日）

◎試験の種類：甲種、乙種（第1類～第6類）、丙種

◎試験会場：琉球大学、北部農林高校、南部農林高校

◎願書受付期間：8月23日（木）～8月30日（木）

◎願書配布先：各消防本部予防課、県宮古事務所総務課、
県八重山事務所総務課、消防試験研究センター沖縄県支部

※電子申請できます。ホームページをご覧ください。

ホームページ：http://www.shoubo-shiken.or.jp

【お問い合わせ】（一財）消防試験研究センター沖縄県支部

TEL:098-941-5201

平成30年度在日米軍従業員の事前募集

①応募資格：沖縄県在住の満18歳以上の方

②応募方法：インターネット又は窓口の何れか1回の応募で有効

・インターネット：エルモのホームページ（「LMO」で検索または<http://www.lmo.go.jp>）を開き、【求人情報】の【沖縄県における事前募集】をご覧ください。

年中24時間受付

・窓口応募：指定の応募用紙に必要事項を記入の上、お申し込みください。

午前9時～午後5時30分受付

（ただし、土曜・日曜、祝日及び

12月29日～翌年1月3日を除く）

【お問い合わせ】

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）

沖縄支部 管理課

沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良 1058 番地の 1

TEL:098-921-5532

労働安全衛生法に基づく平成30年8・9月講習会のご案内

平成30年6月27日

（一社）沖縄県労働基準協会

講習会名	受講料	定員	日時	会場	備考
アーク溶接特別教育	会員 ¥15,120 （テキスト代込） 非会員 ¥18,360 （テキスト代込）	40名	学科 8/27（月）12:30～17:00 8/28（火）9:00～17:00 実技 8/29（水）9:30～15:30 8/30（木）9:30～15:30	学科 北部会館3階 （名護市宇茂佐の森5-2-7） 実技 名護商工高等学校 （名護市大北4-1-23）	アーク溶接機を用いて行う金属の溶接、溶断等の業務
職長・安全衛生責任者教育	会員 ¥15,552 （テキスト代込） 非会員 ¥20,952 （テキスト代込）	50名	学科 9/13（木）9:00～17:00 9/14（金）9:00～17:00	北部会館3階 （名護市宇茂佐の森5-2-7）	建設業、製造業、電気業、ガス業、自動車整備業、機械修理業の業種において職務に就くこととなった職長その他の作業中の労働者を直接指導又は監督する者
自由研削といし特別教育	会員 ¥8,748 （テキスト代込） 非会員 ¥11,988 （テキスト代込）	30名	学科 9/20（木）9:00～16:30	北部会館3階 （名護市宇茂佐の森5-2-7）	研削といしの取替え、又は取り換え時の試運転業務をする者 ベビーサンダー・エンジンカッター高速カッター等といし刃を使用するものに限る
職長等及び安全衛生責任者能力向上教育	会員 ¥9,072 （テキスト代込） 非会員 ¥12,312 （テキスト代込）	50名	学科 9/26（水）9:00～16:00	北部会館3階 （名護市宇茂佐の森5-2-7）	職長・安全衛生責任者特別教育を受講され、概ね5年経過及び機械設備等に大幅な変更のあった場合など、能力向上を目的とした講習会

※申込みは先着順の受付とし、定員になり次第締め切らせて頂きます。

※受講者が少ない場合は、中止又は延期になる場合があります。予めご了承下さい。

※顔写真2枚（縦3cm×横2.4cm）必要となりますのでお申し込み時に提出して下さい。

※受付後の申込書と受講料はお返しいたしません。講習日程の振替も行いませんので、キャンセルや遅刻、欠席をしないようご注意ください。

お問い合わせ先

（一社）沖縄県労働基準協会 北部支部
名護市宇茂佐の森5-2-7（北部会館4階）

TEL 0980-54-4700

FAX 0980-52-7004

食品・日用品値下げ 還元セール 実施中！！

1. 事業目的

沖縄県内の離島では、海上輸送コストが掛かるために、沖縄本島と比較して食品や日用品等の価格が割高となっています。沖縄県と伊平屋村では、離島における食品や日用品等の価格を低減することで、離島住民の割高な生活コストの軽減を図ることを目的に、沖縄本島から伊平屋島までの輸送経費を協調して助成する「離島食品・日用品輸送費等補助事業」を実施しています。

2. 事業概要

(1) 補助対象品目

補助対象品目は、離島住民が生活するうえで通常必要とするものであって、登録事業者で販売されているもののうち、次の品目になります。

- 対象品目／「食品」「衣類・履物」「日用品」
「医薬品・保健医療用具・器具」
「家庭用電気製品」
- 対象外品目／「酒類」「がん具、運動用具類」
「装身具」「たばこ」「書籍」

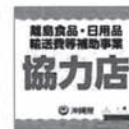
(2) 小売店（登録事業者）

- ①田名共同売店、②前泊共同売店、
- ③島尻共同売店、④松金商店、
- ⑤伊平屋支店生活店舗、⑥野甫売店

※登録事業者は、毎月の補助実績額を勘案したうえで、値引販売を行っています。

※値引販売する品目の選定など、値引販売の方法については、登録事業者に任せています。

POPやステッカー・ポスターが登録店の目印です。



(3) 平成29年度実績（県・伊平屋村合計／年間）

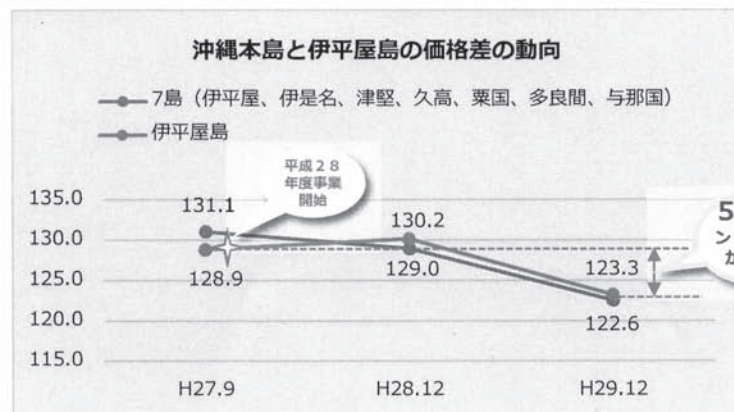
沖縄本島との価格差が

5.6

ポイント縮小！

(4) 問い合わせ先

伊平屋村役場 船舶課
TEL 0980-46-2177



「平成29年度離島食品・日用品輸送費等補助事業」調査結果に基づく

役場総務課より平成 30 年度行政懇談会開催中止のお知らせ

伊平屋村民の意見を行政に反映すべく、意見や要望を聴取する機会として毎年7月頃に開催している行政懇談会について、平成30年度の開催は中止致します。次年度以降については住民意見や要望を広く聴取できるよう開催方法及び開催時期などを役場と区長会で検討し開催いたします。本年度、意見や要望を予定していた方は、各区長を通して行政へ報告していただくか、役場玄関または前泊港ポートターミナルに設置してある意見箱にご意見書を投函してください。

【お問い合わせ】伊平屋村役場総務課 TEL:0980-46-2001

寄附・寄贈

㈱国吉設計さんより伊平屋村への寄附金



6月25日、㈱国吉設計より伊平屋村への寄附金 hands 渡されました。㈱国吉設計さんありがとうございました。

㈱太名嘉組さんより育英会へ寄附金

7月9日、㈱太名嘉組より伊平屋村育英会への寄附金 hands 渡されました。㈱太名嘉組さんありがとうございました。



仕事休もっ化計画 始動！

会社の夏季休暇に年休をプラスして連続休暇を取得しよう。

今年の旧盆は、8月23日（木）～25日（土）です。夏季休暇を取ると4連休です。20日、21日、22日に年次有給休暇をプラスすると9連休となります。

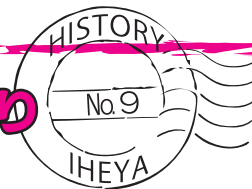
暑い夏、海に山に、花火に夏祭りに、休暇を取って人生を充実させませんか。

【お問い合わせ】

沖縄労働局 雇用環境・均等室 TEL:098-868-4380



歴史民俗資料館だより



アカカナジャー

小中学校が夏休みに入って数週間経ち、子どもたちもますます日焼けをし、夏を満喫していることと思います。伊平屋小学校は新校舎が完成し、新学期からは新しい学舎での生活が始まります。

今月は伊平屋小学校のシンボルツリー・ガジュマルに住んでいる(はずの)アカカナジャーをご紹介します。

アカカナジャーは沖縄本島で「キジムナー」と呼ばれる妖怪の一種で野苅区では「フィーフィー」と呼ばれ、また、奄美大島では「ケンムン」と呼ばれています。

伊平屋村民話集（平成13年発行）に収録されているアカカナジャー話は類話を含め18話あり、伊平屋村の5集落すべての人からの話を収めています。

その民話は、アカカナジャーは「海に遊びに行こう」と人間を誘う。海遊びのなかで「タコが嫌いなので獲らないでくれ」と頼む。人間が頼みをきかずタコを獲ると、その仕返しにその人の子供の目玉をくりぬくというもので、まるでホラー映画のような展開です。

まだまだ暑い日が続き海で遊ぶのが楽しい季節ですが、くれぐれもアカカナジャーに出会うことのないようにしましょう。





フェリーいへやⅢ火災避難訓練

6/21 慌てず。船員の指示に！

火災避難訓練がフェリーいへやⅢで行われた。海上で火災が起きた想定で乗組員と消防隊員合同で訓練が行われ、乗客として子供ら7名を含む21名と乗組員14名が訓練に参加した。船内にサイレンが鳴り響き、「フェリー後部で火災が発生しました。乗組員は消火部署に付き初期消火を始めよ！」

と船内放送が流れ、乗組員らが消火器による消火活動を行った。火の勢いが弱まらない設定で、防護服に身を包んだ乗組員による放水、消火活動も行われた。乗客らは船の前方に移動し、「万が一に備えて救命胴衣を着用いただきます。」という乗組員の指示で、子供たちから順に救命胴衣を着用。消防車、救急車が現場に到着し、救急隊員は船に乗り込み、けが人役の1名を担架で搬送した。乗組員が先導し、乗客全員を船の外に避難させた。伊平屋村役場船舶課の仲地功幸課長は「今回の合同火災・避難訓練は意義ある訓練であった。今後あらゆる災害を想定した訓練を関係機関と連携し実施していくことで安全を最優先に乗客や貨物の輸送に努めていく。」と話した。



てるしの天岩戸祭り

6/22 50年振りの神楽公演！

てるしの天岩戸祭りが伊平屋村産業連携拠点センターで行われた。公演には村内外より約200名が来場した。今から50年前にも伊平屋村で天岩戸開きが行われており、伊平屋村商工会が「もう一度伊平屋村で天岩戸開きを行いたい。」と、3年前に沖宮に赴き「天岩戸開き」について話をした。その準備として昨年12月3日に伊平屋島の念頭平松の近くで伊平屋天岩戸神社奉鎮祭が行われ、今回、50年振りに国の重要無形文化財「穴澤天神社里神楽山本社中」あなざわてんじんじやさとかがらやまもとじやちゅうによる神楽公演が実現した。伊平屋村の各字伝統芸能、チムどんキッズシアター、伊平屋村婦人連合会、青年団協議会による演舞なども披露され、会場を盛り上げた。てるしの天岩戸祭り実行委員会伊禮征男会長は「本日の式典にあたりまして多大なご協力を賜りました大勢の方々に心から感謝します。」と感謝の言葉を述べた。

区民の日

6/23 区民の日を楽しむ。

区民の日のイベントが各字で行われた。今年、野甫は運動会前日で登校日の為、イベントは行われなかった。我喜屋は大運動会、島尻は具志川島探検したり、泳いだり、前泊はゲートボール、田名はグラウンドゴルフを行い、子どもたちからお年寄りまで参加し、区民の日を楽しんだ。



我喜屋



前泊



島尻



田名

創業70年 伊平屋島の 酒造り

伊平屋酒造所

伊平屋島の字我喜屋にある島唯一の伊平屋酒造所は、昭和23年、1948年創業。今年で創業70年目になる。70年前、島民による酒造組合として設立されたのが始まりだという。組合が解散し、44年前に現在の社長が事業を引き継いだ。当時は同じ我喜屋内の別の場所に工場があったが、約30年前に現在の場所に移動した。昔は土に埋めた甕でお酒を寝かせ、古酒を造っていたという。今も限定のお酒だけ、ブレンドして甕で寝かしたりして使用しており、年数が経てば経つほど飲みやすくなるという。

組合の時は、島外への出荷が認められておらず、島内だけで消費されていた。今日では、島外への出荷も行っており、関西などにも出荷している。伊平屋出身の方に直接送ったり、ブログなどを見て問い合わせが来て送ったりすることもあるという。今現在も生産量の7割が島内で消費されており、代表銘柄の「照島」が主流。「照島」の名は、お酒造りのために本島首里から呼び寄せた麴職人、島袋氏の「島」と、昔から島に残る天の岩戸伝説、天照大神の「照」に由来している。お土産に島のお米で作った泡盛「しまぐみ」をプレゼントしたりする方も多く、最近では若い女性が多い度数が高いものを好む傾向もあるという。

代表者である保久村昌弘さんは、「昔の味をそのままに大切にしたい、手作りのコクある酒を造り続けていきたい。」と話してくれた。

代表の孫 将貴さん



島のお米でお酒を造る。

島のお米がお酒になる工程では常に温度が関係している。まず、お米500kgを水で洗って蒸す。100℃から42℃まで冷ます。麴菌を付けて4.5〜5時間くらい寝かす。黒麴をまんべんなく付けて一つのタンクに500kgを入れる。モロミの温度管理が重要だという。

伊平屋酒造の酒造りで一番大切なのは「麴」。発酵具合や色、香など機械任せにせず、必ず人の目で確認するなど、手間隙を問わない仕込みを行っている。うすいネズミ色になったら、味、香、甘さ、辛さのバランスが絶妙になった証。こうして手間暇かけて造られた島酒は長年、多くの人たちに愛されている。



ゆんたくいへやごはん



海やから千増

元々は夫で海人の嘉納増秀さんが獲ってきた海のものを提供していたが、平成13年11月に今の店の形になり、現在は惣菜屋さんとして祝い事などのお餅やオードブルなどを提供。お店の名前は夫の増秀さんが海人であることから『海やから』、店主の嘉納千恵子さんと増秀さんの父と祖父の名の『千』と『増』を一字ずつもらい付けたという。おススメはやわらかくてモチモチした食感が特徴のうずまきもち。紅イモ、黒糖、ウッチン等、全5種類。アガラサー（黒糖の蒸しパンケーキのようなもの）、ナントウ（黒糖、ショウガ、みそなどを使用したおもち）も人気。



「今年で早17年、伊平屋村、地域の皆様のお陰で続けて来られて感謝しています。」と店主の嘉納千恵子さん。

☞ 伊平屋村字田名 1702
☎ 0980-46-2855
🕒 9:00 ~ 17:00
定休日：日曜日（注文に応じて対応可）

伊平屋村の行事予定表 schedule

8月 August		
2日	木	東大塾（～8/10）
6日	月	我喜屋大綱引き
7日	火	ミニデイ（我喜屋）
8日	水	ミニデイ（島尻）
11日	土	山の日
13日	月	ミニデイ（野甫）
16日	木	ミニデイ（田名）
17日	金	ミニデイ（前泊） こころの健康相談（PM）
18日	土	こころの健康相談（AM）
21日	火	ミニデイ（我喜屋）
22日	水	ミニデイ（島尻）
23日	木	旧盆（ウンケー）
24日	金	旧盆
25日	土	旧盆（ワークイ）
27日	月	ミニデイ（野甫） 2学期始業式 ウンジャミ
29日	水	シヌグ 伝統文化学習の日
30日	木	ミニデイ（田名）
31日	金	ミニデイ（前泊） 国保納税期限（第2期分） 村・県民税（第2期分）

9月 September		
4日	火	ミニデイ（我喜屋）
5日	水	ミニデイ（島尻）
6日	木	ミニデイ（田名）
7日	金	ミニデイ（前泊）
9日	日	村議会選挙
10日	月	村定例議会開始 ミニデイ（野甫）
13日	木	ミニデイ（田名）
14日	金	敬老会
17日	月	敬老の日 トーカーチ
18日	火	ミニデイ（我喜屋）
19日	水	伝統文化学習の日 弁当の日 ミニデイ（島尻）
20日	木	豊年祭（我喜屋）
21日	金	豊年祭（田名・島尻・野甫）
22日	土	豊年祭（前泊）
23日	日	秋分の日
24日	月	振替休日 十五夜
25日	火	ミニデイ（前泊）
27日	木	ミニデイ（田名）
30日	日	第40回村体協陸上競技大会

伊平屋村人口動態（平成30年6月末現在）

総人口 1,256(+5) / 男 678(+4) / 女 578(+1) / 世帯数 592(+1)

表紙写真：野甫大橋から見た米崎海岸

伊平屋村 HP へ
ジャンプできます

